



TIFA会報

Tachikawa International Friendship Association

ホームページ <http://tifa-class.net/>

2016年7月16日

Vol.122

立川国際友好協会

発行責任者 斎藤 實

編集責任者 小林 保

外国人に日本語を教えるボランティア団体

2016年度TIFA総会

2016年度TIFA通常総会が5月21日(土)、午後3時より柴崎学習館3F.作業室にて開催されました。

会員総数(休会者を除く)74名(木曜クラス26、土曜クラス28、西砂クラス20)に対し、出席者26名、

委任状提出者40名の計66名で総会は成立。牛島芳さん(土曜クラス)が議長に選出され、蔡丹華さん(副事務局長)と赤嶺事務局長が書記を担当し、総会資料に沿って議事が進行されました。



平成27年度活動報告、会計報告及び会計監査報告、さらに平成28年度TIFA

新体制、予算案、各部活動計画案が審議され、いずれも原案通り可決承認されました。活発な質疑応答もあり、改めてTIFAをより良くしていこうとの会員の熱意が感じられる総会でした。尚、総会資料は欠席者も含め、全会員及び関係部署に事前に配布していました。

総会 会長挨拶

会長 斎藤 實

平成26年9月議会に、陳情提案した「多文化共生都市宣言」も全会一致で採択されながら首長の否定的見解で頓挫していた課題に対し、議会としての権威保持と陳情・請願という市民の建設的な意見を議会が吸い上げる意義を2元代表制の自治体のあり方を問い直した所、行政で見直し作業が行われた結果、協働推進課所管で「多文化共生都市宣言」準備に当たる事になりました。

立川市の行政・議会改革にも一石を投じたものと思います。現在議会の総務委員会で、議会と行政間で陳情・請願の取扱いに付いて新たなルール作りも準備を進めているとの市議会議長からの文書を受けております。

未来の立川を切り開く為に、ボランティア団体であっても皆さんの意欲的な熱意を結集して広く協働しながらアイデアを出し合い、行動すれば必ずや住みやすい安全で平穏な町づくりに貢献出来、お互いに楽しい人生を送ることが出来るものと確信しております。どうぞ今年も仲良く、楽しく、元氣よくボランティア活動に参加して参りましょう。

土曜教室研修会

6月25日(土)午後3時~5時、ボランティア教師の指導力向上を目的とした研修会を開催しました。参加者は16名。講師は、TIFA副会長の橋本氏と土曜教室部長的場氏の二人でした。

橋本氏からは、敬語、謙譲語、待遇表現について説明がありました。土曜教室は仕事をしている受講生が大半で、上司、同僚との会話、顧客との対応等で敬語は非常に大切で、そのためにもボランティア教師の敬語についての指導力向上が求められています。



的場氏からは、入門者、初心者を対象としたひらがな、カタカナ、漢字の指導方法の講義でした。二人とも、TIFAでのボランティア活動のほか、仕事としても日本語教師をしておられ、丁寧でわかりやすい研修会でした。

ボランティア懇親会

5月29日(日曜日)13:00~15:00、TIFAボランティア懇親会を“がんこ武蔵野立川屋敷店”で開催しました。木曜教室:14名、土曜教室:13名の参加で、西砂教室からは残念ながら参加者はありませんでした。普段、ボランティア同士で話し合う機会も少なく、教室が違えば全く面識のない方もおり、懇親会はお互いが知り合う良い機会かと思えます。参加者全員が簡単な自己紹介等のスピーチを行いました。皆さん、それぞれの話を熱心に興味深く聞いていました。今回のボランティア懇親会は3年ぶ



スピーチ中のボランティア(中央奥)

りでしたが、来年は今年以上の参加者数で、西砂教室からも是非参加して戴き、懇親会が今後も継続して開催されることを願っています。

イランにおける異文化体験

西砂教室 永澤 正孝

50年を超える会社生活において延べ20年以上日本を離れていた中で、大きく影響を受けたのが、1974年からイラン、シラズ（テヘランから南へ1000km南）への家族帯同赴任です。歴史的に有名なペルセポリスの遺跡に近く、奈良のような古都です。



[ペルセポリスの遺跡]

新工場建設であり、言葉を始め、文化、習慣の違い、技術力等での苦労は相当なものでしたが、貴重な経験も多くありました。業務は多忙を極め休日返上で家族サービスも出来ませんでした。その代わりに車をチャーターし妻と子供のみでの他の古都への小旅行を用意しました。

妻の話では、運転手が、突然車を止めてメッカへの礼拝を始めたり、夜間、キツネ等の小動物の眼が光ったり、満天の星空の下の砂漠（土漠）では、走行中に彼方に街の光が見えたと思うと、地平線まで星が輝いている光景で、その星空に吸い込まれるようで幻想的で美しく素晴らしかったと興奮気味に説明してくれ貴重な経験であったことを今でも鮮明に覚えて居ます。

3年間の生活を通して、イスラム文化、考え方、習慣等、私たちとの違いの大きさを肌で感じました。また、多少なりともイランの言語であるペルシャ語を読み書きできるようになり、後の1988からのアメリカ長期出張、1998年からのイタリア、ローマにおける7年間の現地赴任時に思わぬ経験をすることになります。

ベルリンへの家族旅行で、タクシーの運転手がイラン人らしいので、ペルシャ語で話しかけてみました。15年以上使っていないので、スムーズな会話になりませんが、少し意思疎通が取れたと感じていると車が信号停止し、突然クラクションを鳴らしました。そして運転手が窓を開けて大声で叫びだしました、「今乗っている客はペルシャ語を話す日本人だ。」と叫んでいました。それに応えるように他の車からも歓呼のクラクションが一斉に鳴り出しました。革命後、多くの人が出国し運転手になった者が多いということでした。

当時ローマ事務所はイタリア人をはじめ12ヶ国以上の方がいました。共通語は英語及びイタリア語ということでしたが、日本語交じりの英語、イタリア語とスペイン語のチャンポン、仏語等が入り混じっていました。それでもコミュニケーションが取れたのが不思議でした。

☆☆受講生の家族☆☆

土曜教室 (敬称略)

アルベルト 男性 37歳

生まれ育った所：スペインのセビリア生まれ

来日した時期：2015年9月



私の家族：スペインに住んでいます。

家族の連絡の方法はメールとかLINEとか、ときどき電話です。連絡の頻度は一週間に三回、四回ぐらいです。家族の合う頻度は一年に一回、二回ぐらいです。

張 珪珪 (ちょう よよ) 姉 12歳

張 雪猛 (ちょう しょもん) 弟 10歳

生まれ育った所：中国

来日した時期：2014年11月(5人家族)

私の家族：お父さんは、ベランダで花や果物を育てています。



ブドウやミカンやイチジク、桃、柿など40株もあります。家族の中で一番忙しいのにどんな時も私たちのことを考

えてくれます。お母さんは、優しく、お兄さんは、家族を笑わせてくれます。

ファビ マリコ 女性 20歳代

生まれ育ったところ：ベナン(西アフリカ) タンペ

来日した時期：2015年9月

私の家族：故郷にいる家族 父・母・妹2人(19歳、18歳)

日本にいる家族 夫・義父母

父はキリスト教の宣教師ですが、昨年11月からローマに単身赴任しています。

母と高校生の妹2人とは、電話、フェイスブック、スカイプ等さまざまな方法で、1ヶ月に3回ほど



連絡を取り合っています。故郷の家族は日本に来たことはありませんが、ベナンで日本食レストランにみんなで行きました。また、お弁当を作って、浜辺(ビーチ)によく遊びに行きました。ダンスや歌の得意なママや妹たちと写真を撮ったり、踊ったり、楽しい思い出です。日本では、夫と夫の両親と暮らしています。

☆☆受講生の家族☆☆

土曜教室

アリアル・ゴカルナ 男性 30歳代

生まれ育った所：ネパールのチタワン市

来日した時期：2016年1月21日

私の家族：妻と息子（5才）と娘（3才）の4人家族。



家族と毎日インターネット電話で話しています。早く家族も日本に来れるといいです

私は今“ひらがな”と“カタガナ”優しい会話を習っています。漢字は未だです。私はインドでインドカレーの

作り方を勉強してシェフの免許を取りました。日本のカレーの作り方を習いに今年の1月に一人で、日本に来ました。私は日本が大好きで、暇を見つけて新宿、東京を見学してその後、京都と大阪にも行きたいです。

レフウナム ナム 男性 25歳

生まれ育った所：ベトナムのニンビン市

来日した時期：2016年4月6日

私の家族：父（45歳）、母（44歳）、弟（14歳）と私。スマ



フォのLINEで、毎晩9時頃に通話しています。

・体調のこと：お互いに、元気かどうかを確認します。

・仕事のこと：父が家具の職人で、私は工務店で大工の仕事を実習中です。

・食物のこと：朝食が6時と早いので、いつも昼食の前に空腹になります。私は魚肉が好きで、日本の魚も大変美味しい。家族が来日したら、皆で「富士山」へ行きたいです。

姜海峰（きょう かいほう） 男性 32歳

生まれ育った所：中国の江蘇省

来日した時期：2013年10月頃

私の家族：妻と娘が一人。娘は来年4月小学校に入学します。

現在、家族と一緒に日本語を勉強して、生活しています。



もうすぐ日本で三年過ごしますが、この間は二回だけ帰国しました。中国に住んでいる父と母時々思い出します。一週間3回ぐらい電話と連絡して、チャットしている状態です。今年8月の帰国チケットを買いました。とても楽しみにしています。

アンベカ 男性

生まれ育った所：インド プネ市

来日した時期：2013年8月

私の家族：両親と弟の3人。TV電話で月5回程度、電話で週5



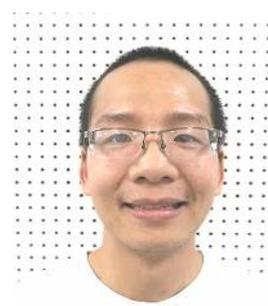
回程度連絡しています。年1回帰国し、家族が日本に来たら、東京・京都・奈良・江の島・鎌倉を案内したい。日本食では野菜・果物を食べさせたいが、肉や魚は食べない。現在、日本語検定2級を挑戦中で日本女性の恋人も募集中。

LE DUC THANH (レドクヲ) 黎徳成 男性 20代

生まれ育った所：ベトナム THANH HOA 県で生まれ、ダナンで大学を出て仕事をしました。

来日した時期：2015年10月頃

私の家族：故郷にいる家族 父・母と妹。



妹は結婚していますが、私はまだ独身です。ダナンはきれいな所で、誰もがダナンに住みたがっています。仕事の都合で今年10月に帰国することになっています。日本に来た時は日本人が速く喋るので全然分かりませんでした。日本語をもっと勉強したいし、日本の文化、生活をもっと体験したいので、チャンスがあれば、また日本に来たいと思います

チンヴァン シュオン 男性 20歳代

生まれ育った所：ベトナム テングア市

来日した時期：2016年4月

家族について：ベトナムでは家族の絆が全てに優先されます。



お金があってもなくとも、家族と一緒に過ご一緒にご飯を食べなければハッピーと言えません。ベトナムの諺に「妻（母）は一番、神様は二番」があります。ベトナムの女性は働き者でしっかりしています。家族と離れて過ごすことは本当に寂しいことですが、人生

を豊かにするため、日本にさまざまなことを学びにきました。今、働いている工務店の方々は、皆優しく、いろんなことを教えてくれます。日本語学校も楽しいです。

「多文化交流サロン～えんがわ～」へのお誘い

木曜教室 赤嶺 令子

4月22日スタートした「多文化交流サロン～えんがわ～」は4月：日本の遊び、5月：お茶のお点前、6月：折り紙を好評のうちに終了し、7月は浴衣（ゆかた）の着付け、8月はミニ納涼祭を行う予定です。TIFA 受講生や近隣の外国出身者を是非お誘い下さい。サロンは毎月第4金曜日午後1時30分から、柴崎会館3F集会室で開催されます。

土曜教室七夕祭り

7月2日（土）1時間の授業のあと七夕祭りを行いました。



はみんなで折鶴作り、そして各自が短冊に願い事を書き皆の前で発表しました。中には細かい字で3つも願いを書き込んだちょっと欲張りな人もいました。

もいました。

南砂小学校4年生との交流会

木曜教室 佐藤 達夫

6月30日木曜日南砂小学校4年生と日本語教室の受講生5名、立川市の姉妹市であるアメリカ サンバーナディノ市からの交換学生3名、地域でホームスティしている学生1名合わせて9名との交流会でした。7～8名の4年生と外国人1名を1グループとし9グループ編成し、生徒の自主的に進行にまかせ先生やボランティアは遠くから見ているやり方でした。私はおもにインドから来たナミタさんのグループ取材しました。

最初にナミタさんから自己紹介がありそれに対して生徒が質問しましたが、話が通じないので片言の通訳で何とか進めました。最初から質問は用意されていてインドであなたの好きな食べ物とかインドの有名な動物は何ですかとか数はインドではどう数えるかなどありました。特にヒンズー語での数の数え方に皆さん興味を示しました。次に運動をしようというので生徒がナミタさんの



インドから来日のナミタさん（左から4人目）と南砂小学校の生徒達

好きなスポーツを聞いてその中にバスケットボールがあったので生徒から歓声があがりました。みんなバスケットが好きなのでしよう。校庭に出て、

グループを二つに分け試合をすることになりました。これら全部生徒の運営進行です。言葉が通じないことはハンディと感じていないようで、和気あいあいと試合をしていました。次にバトミントンを行い、お互いが親近感をもってわかりあえる様な感じがしてきているようでした。体育館へ行くとペナンから来たマリコさんが楽しそうにフラフープをしたり、アメリカ人のデイビットもハシャイで駆けずり回り、やさしいゲームも暖かく生徒に接し、中国人の趙さんもトランプしたりお習字を書いたり楽しそうでした。

お別れには生徒手作りの紙細工をもらいうれしそうでした。生徒さんは私たちが校門を出るまで見送ってくれました。短い時間でしたが楽しくみんな笑顔でハッピーな交流会でした。

日本語アラカルト

木曜教室 山崎 耕造

日本語は文法的にはどんな言語でしょうか。独立した単語に文法的意味を持つ接辞が膠（にかわ）の如く接着して文法的機能を果たす膠着語（こうちゃくご）と呼ばれています。トルコ語、韓国・朝鮮語がこれに属します。お互いの親縁系から語順・語派の分類からの観点では、文の構造、語順、文法上の性・数の欠如、音韻面などからウラル・アルタイ語族に起源を持つ北方起源語や、語彙の類似点から南太平洋や東南アジアのマライ・ポリネシア語族、オストロアジア語族との関連をみる南方起源説ありますが、いずれも決定打に欠き、今のところ系統不明の孤立した言語とされています。

☆☆TIFA 会員動向☆☆

（敬称略）

【入会者】

木曜：なし

土曜：葛 敦、池田 久美子

西砂：古川 朋陽、古川 寛

【退会者】

木曜、土曜：なし

西砂：嶋村 玲子、板垣 有

【休会者】：なし

☆☆今後の予定☆☆

防災体験学習：7月19日（土） 防災館 市役所

木曜教室 一学期終了 ランチパーティー：7月21日（木）

西砂教室 一学期終了：7月23日（土）

土曜教室 一学期終了：7月23日（土）